

教科	音楽
----	----

目 標	<p>ひょうげんおよ かんしやう はばひろ かつどう とお おんがくてき みかた かんが かが はたら 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働か せ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能 りよく つぎ いくせい め ぎ 力を次のとおり育成することを旨す。</p>
	<p>きょくそう おんがく こうぞう はいけい かが およ おんがく たようせい (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性につ いて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために ひつよう かしやう みがく そうさく しんたいひょうげん ぎのう み つ 必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。</p>
	<p>おんがくひょうげん そういくふう おんがく じぶん ひょうか (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら よさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>しゅたいてき きやうどうてき ひょうげんおよ かんしやう がくしゆう と く おんがくかつどう (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の たの たいげん とお おんがくぶんか した おんがく 楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽に よって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>

将来の生活に向けて授業で付けたい力

<p>おんがく たい きやうみ かんしん たか おんがく よ うつく かん と ゆた こころ ・音楽に対する興味・関心を高め、音楽の良さや美しさを感じ取る豊かな心</p> <p>かし ないよう きょくそう かん と かしやうひょうげん ちから ・歌詞の内容や曲想などを感じ取り、イメージをもって歌唱表現しようとする力</p> <p>がつき おんしよく そうほう とくちやう い ひょうげん くふう えんそう ちから ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する力</p>

関連する行事等

<p>ぶんかさい ほっぴやう 2年:文化祭 ステージ発表 (10月)</p>
--

使用教科書

<p>やくだ おんがく どうようかんしゅつばんしや 1・2年 暮らしに役立つ音楽(東洋館出版社)</p> <p>こうこうせい おんがく きやういくげいじゅつしや 3年 高校生の音楽 I (教育芸術社)</p>
--

学習内容

<音楽科 1学年>

月	単元名 (時数)	評価の観点
前期 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 9 ・ 10 月 (文化祭前まで)	身近な物で楽器を作ろう【器楽】 (2)	(主)身近な材料を使った楽器づくりに関心をもち、音の変化を試しながら意欲的に取り組もうとしている。
	校歌【歌唱】 (3)	(知)基本的な姿勢や呼吸、発声を身に付け、旋律や歌詞を覚えて歌っている。 (思)歌詞や曲の雰囲気や踏まえ、声の出し方や歌い方について考え、歌っている。 (主)校歌に関心をもち、よりよい歌声を目指して歌唱活動に取り組もうとしている。
	くわしくきいてみよう【鑑賞】 ・動物の謝肉祭 など (2)	(知)強弱、速度、音色などの音楽の要素について理解している。 (思)音楽の要素をもとに、曲からどのような様子や情景が表されているかについて考え、感じ取っている。 (主)作曲された時代や文化に関心をもち、その背景を踏まえながら音楽を味わおうとしている。
	和楽器に挑戦しよう【器楽】 ・秩父屋台囃子 など (2)	(知)和太鼓の構え方やバチの持ち方、基本的な打ち方を理解している。 (思)周囲の音を聴きながら、リズムや強弱、間の取り方を考えて演奏している。 (主)和楽器の音やリズムに関心をもち、仲間と合わせながら演奏活動に取り組もうとしている。
	キーボードを弾いてみよう【器楽】 ・音の出し方 ・コード (4)	(知)キーボードの音の出し方や基本的な操作方法、簡単なコードの押さえ方について理解し、演奏している。 (思)曲の雰囲気や演奏する場面に合う音色を考え、表現している。 (主)キーボードの音やコードの響きに関心をもち、進んで演奏活動に取り組もうとしている。

後期	10 ・ 11 ・ 12 ・ 1 ・ 2 ・ 3 月	<p>こと した きがく 箏に親しもう【器楽】</p> <p>・箏の名称、奏法</p> <p>・さくらさくら など</p>	(8)	<p>こと かくぶ めいしやう あつか かた きほんてき そうほう りかい ただ</p> <p>(知)箏の各部の名称や扱い方、基本的な奏法について理解し、正しい姿勢や奏法を意識して演奏している。</p> <p>(思)どの糸も同じ強さや音色で弾けるよう、楽器の傾斜に合わせて爪の角度を調整するなど、表現の工夫をしている。</p> <p>(主)箏の構造や歴史に興味をもち、練習に意欲的に取り組もうとしている。</p>
		<p>ぶたい げいじゆつ らく かしやう かんしやう 舞台芸術を楽しもう【歌唱】【鑑賞】</p> <p>・能/狂言</p>	(2)	<p>のう きやうげん とくちやう めん しやうぞく うご おんがく</p> <p>(知)能や狂言の特徴(面・装束・動き・音楽・せりふなど)を知り、表現の特徴を理解して鑑賞している。</p> <p>(思)能や狂言の動きや声、音楽を基に、登場人物の気持ちや物語の様子について考え、感じ取っている。</p> <p>(主)能や狂言の表現の特徴に関心をもち、動きや声、音楽に注目しながら意欲的に鑑賞に取り組もうとしている。</p>
		<p>じぶん 自分たちのオリジナル・サウンドをつくって みよう【器楽】【創作】</p> <p>・JAWS など</p> <p>※教科書 高校音楽 I Music View</p>	(4)	<p>おと しげる だがつき か おと へんか</p> <p>(知)音を重ねたり打楽器などを加えたりして、音の変化をつけることができる。</p> <p>(思)自分たちのイメージに合うように、音色や強弱、速度を工夫しながら音を組み合わせる表現している。</p> <p>(主)音や音楽をつくる活動に関心をもち、自分のイメージに合うように試行錯誤しながら創作活動に取り組もうとしている。</p>
		<p>こうか かしやう 校歌【歌唱】</p>		
通年		<p>じやうけい おも う いた うた かしやう 情景を思い浮かべながら歌おう【歌唱】</p>		<p>かし きやく ふんいき りかい きやうじやく はや いしき うた</p> <p>(知)歌詞や曲の雰囲気を理解し、強弱や速さを意識して歌っている。(思)歌詞から情景や気持ちを想像し、どのように歌えば伝わるかについて考え、歌っている。</p> <p>(主)歌詞や音楽に関心をもち、自分の思いを込めて歌おうとする姿勢で歌唱活動に取り組もうとしている。</p>
		<p>うた かしやう ポップスを歌おう【歌唱】</p> <p>・ひまわりの約束 など</p>		<p>かし せんりつ りかい おんてい いしき うた</p> <p>(知)歌詞や旋律を理解し、音程やリズムを意識して歌っている。(思)歌詞の内容や曲の雰囲気を踏まえ、どのように歌えば思いや感じが伝わるか考え、表現している。</p> <p>(主)ポップスの音楽に関心をもち、意欲的に歌唱活動に取り組もうとしている。</p>
		<p>せいやうおんがく がくてん おんめい おんぶ 西洋音楽の楽典(音名、リズム、音符と 休符、強弱、速度、コードネーム)</p>	(5)	<p>おんめい おんぶ きゆうふ きやうじやく そくど</p> <p>(知)音名、リズム、音符と休符、強弱、速度、コードネームなどの基本的な楽典を理解している。</p>

学習内容

<音楽科 2学年>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 9 ・ 10月 (文化祭前まで)	<p>がいがく うた うた かしよう (3) 外国の歌を歌おう【歌唱】 ・O sole mio(我が太陽) の ・野ばら(Heidenroslein)</p>	<p>(知) 歌詞の意味や言語の特徴を理解し、外国語の発音を意識して歌っている。 (思) 歌詞の内容や旋律を踏まえ、曲の情景や気持ちを考え、表現している。 (主) 外国の歌に関心を持ち、よりよい表現を目指して、自分の歌い方を振り返りながら練習に取り組もうとしている。</p>
	<p>いろいろなアンサンブル①【器楽】 (4) ・聖者の行進 など</p>	<p>(知) 担当するパートの役割を理解し、リズムやタイミングを意識して演奏している。 (思) 周囲の音を聴きながら、強さやタイミングについて考え、演奏している。 (主) アンサンブルの活動に関心を持ち、周囲の音を聴きながら仲間と合わせて演奏する活動に取り組もうとしている。</p>	
	<p>きょうど おんがく した かしよう きがく (3) 郷土の音楽に親しもう【歌唱】【器楽】 【創作】【鑑賞】 ・各地域に伝わる芸能・祭り・民謡</p>	<p>(知) 各地域に伝わる民謡や芸能の種類や特徴、旋律、囃子ことばなどについて理解している。 (思) 民謡や芸能の特徴をもとに、くらしの中で受け継がれてきた歴史や場面を感じ取っている。 (主) 郷土の音楽に関心を持ち、各地域の民謡や芸能の特徴を見つけようとしながら、学習や鑑賞に取り組もうとしている。</p>	
	<p>ぶんかさい む かしよう きがく そうさく (3) 文化祭に向けて【歌唱】【器楽】【創作】</p>	<p>(知) 文化祭で発表する曲の旋律やリズム、強弱、歌詞の内容などの特徴を理解し、曲想に合った発声や歌い方、演奏の仕方を身に付けている。 (思) 文化祭での発表を意識し、曲の雰囲気や歌詞の意味を踏まえ、よりよい表現方法を考え、歌唱や演奏で表現している。 (主) 文化祭での発表に関心を持ち、自分の役割を意識しながら練習に取り組み、仲間と協力してよりよい発表にしようとしている。</p>	

後期 10 ・ 11 ・ 12 ・ 1 ・ 2 ・ 3月	<p>箏に親しもう【器楽】</p> <p>・さくらさくら(アンサンブル) など</p>	(8)	<p>(知) 箏の基本的な奏法を理解し、正しい奏法で自分の担当するパートを演奏している。</p> <p>(思) 他の旋律を聴きながら、音の強さやタイミングについて考え、表現している。</p> <p>(主) 箏の音色やアンサンブルに関心をもち、仲間と意見を出し合いながら練習に取り組もうとしている。</p>
	<p>・オーケストラを知ろう【鑑賞】</p>	(1)	<p>(知) オーケストラの編成や各楽器の役割、音色の特徴について理解し、楽器の音色の違いを聴き分けている。</p> <p>(思) 曲の中で楽器に着目し、音楽の流れや盛り上がりについて考え、感じ取っている。</p> <p>(主) オーケストラの音楽に関心をもち、各楽器の音色や役割に注目しながら鑑賞しようとしている。</p>
	<p>・「第九」を歌おう【歌唱】【鑑賞】</p>	(2)	<p>(知) 歌詞の意味や旋律の流れを理解し、ドイツ語の発音やリズムを意識して歌っている。</p> <p>(思) 歌詞の内容や演奏の様子を手がかりに、曲の雰囲気等について考え、歌唱や鑑賞を通して感じ取っている。</p> <p>(主) 「第九」の音楽に関心をもち、合唱やオーケストラの響きに注目しながら歌唱や鑑賞に取り組もうとしている。</p>
	<p>・いろいろなアンサンブル②【器楽】</p>	(3)	<p>(知) 担当するパートの役割を理解し、他のパートとの関わりや音の重なりを意識して演奏している。</p> <p>(思) 周囲の音をよく聴き、強さやタイミングを調整しながら、全体のバランスについて考え、演奏している。</p> <p>(主) 周囲の音との重なりや全体のまとまりに関心をもち、仲間と協力しながらよりよいアンサンブルにしようとしている。</p>
通年	<p>校歌【歌唱】</p>		<p>(知) 歌詞や曲の流れを理解し、音程やリズムを意識して歌っている。</p> <p>(思) 校歌の歌詞や曲の雰囲気を手がかりに、声の出し方や歌い方を考え、歌っている。</p> <p>(主) 校歌に関心をもち、学校への思いを感じながら歌唱に取り組もうとしている。</p>
	<p>ポップスを歌おう【歌唱】</p>		<p>(知) 歌詞や旋律を理解し、音程やリズムを意識して歌っている。</p> <p>(思) 歌詞の内容や曲の雰囲気を踏まえ、思いや雰囲気が伝わる歌い方を考えて表現している。</p> <p>(主) ポップスの音楽に関心をもち、意欲的に歌唱活動に取り組もうとしている。</p>
	<p>歌い合わせる喜びを感じ取ろう【歌唱】</p> <p>・翼をください など</p>		<p>(知) 歌詞や旋律の流れを理解し、音程やリズムを意識して歌っている。</p> <p>(思) 周囲の声を聴きながら、声の大きさや歌い方について考え、調整して表現している。</p> <p>(主) 合唱に関心をもち、仲間と声を合わせることを大切にしながらかつて歌唱に取り組もうとしている。</p>
	<p>楽典(用語と記号、拍子)</p>	(4)	<p>(知) 音楽で用いられる基本的な用語や記号、拍子などの基本的な楽典を理解している。</p>

学習内容

<音楽科 3学年>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10月 (文化祭前まで)	<p>にほんかきょく みりょく あじ うた かしやう (4) 日本歌曲の魅力味わって歌おう【歌唱】 ・荒城の月/浜辺の歌 など</p>	<p>(知) 日本語の特徴を理解し、発音や言葉の響きを意識して歌っている。 (思) 歌詞や旋律から、情景や気持ちを感じ取り、歌詞に合うように歌っている。 (主) 日本歌曲の魅力に関心を持ち、歌詞の内容を味わいながら歌唱に取り組もうとしている。</p>
		<p>せんりつ つく ひやうげん そうさく (4) 旋律を作って表現しよう【創作】</p>	<p>(知) 音の高さやリズムの特徴を理解し、それらを生かして旋律をつくることができる。 (思) 自分のイメージを膨らませ、音の高さやリズムを意識しながら旋律を創作している。 (主) 音楽をつくる活動に関心を持ち、自分のイメージを生かしながら創作活動に取り組もうとしている。</p>
		<p>こころ あ えんそう きがく (4) 心を合わせて演奏しよう【器楽】 ・星に願いを など</p>	<p>(知) 担当する楽器やパートの役割を理解し、音の出し方やタイミングを意識して演奏している。 (思) 周囲の音を聴きながら、音を出すタイミングや強さを調整して表現している。 (主) アンサンブルの良さや音の重なりに関心を持ち、仲間と協力しながら演奏活動に取り組もうとしている。</p>
後期	10 ・ 11 ・ 12 ・ 1 ・ 2 ・ 3月	<p>ぶたいげいじゆつ たの かんしやう (4) 舞台芸術を楽しもう【鑑賞】 ・ミュージカル/オペラ</p>	<p>(知) ミュージカルやオペラの特徴を知り、場面ごとの音楽の使われ方に注目して、音楽・歌・演技が結び付いて物語や登場人物の表現に関わっていることを理解している。 (思) オペラやミュージカルにおける音楽と舞台芸術の関わりを感じ取り、作品の表現の工夫について考えながら鑑賞している。 (主) ミュージカルやオペラに関心を持ち、音楽が舞台表現で果たす役割に注目しながら意欲的に鑑賞に取り組もうとしている。</p>
		<p>いつでも音楽を楽しむために (7) ・コンサートに行こう ・コンサートを計画してみよう ・著作権</p>	<p>(知) 演奏会で求められる基本的なマナーや鑑賞の仕方を理解している。 (知) コンサートを行うために必要な準備の手順や役割を理解している。 (知) 音楽に関わる著作権の基本的な考え方やルールを理解している。 (思) 目的や対象を踏まえ、コンサートの内容や流れを考えて計画している。 (主) 音楽を伝える活動に関心を持ち、仲間と協力しながら企画や準備に取り組もうとしている。</p>
		<p>そつぎやうえんそうかい かしやう きがく (2) 卒業演奏会【歌唱】【器楽】 ・自己選択曲</p>	<p>そつぎやうえんそうかいとうじつ えんそう ひやうか たいしやう れんしゆう と く ひよ (2) ・卒業演奏会当日の演奏は評価の対象とせず、練習への取り組みや表現の工夫など、準備の過程をもとに評価する。</p>

	<p>こうか かしょう 校歌【歌唱】</p>	<p>(知)他声部との掛け合いのタイミングや入り方を理解している。 (思)歌詞の意味や情景を思い浮かべながら、呼吸や声の響きを意識し、思いを込めて歌っている。 (主)卒業を意識し、学校生活への思いや自立に向かう決意を込めて、主体的に歌おうとしている。</p>
<p>通年</p>	<p>しをこ 込めて がっしょう かしょう 思いを込めて合唱しよう【歌唱】 たひだ ひ ほたる ひかり ・旅立ちの日に/蛍の光 など</p>	<p>(知)息をたっぷり 吸い、のびやかな声で歌うことができる。 (思)歌詞の内容を踏まえ、思いが伝わる歌い方を考えながら表現している。 (主)曲の雰囲気に関心を持ち、思いを込めて歌おうとする姿勢で歌唱活動に取り組もうとしている。</p>
	<p>そつぎょう せんそうきょく かしょう きがく 卒業演奏曲【歌唱】【器楽】</p>	<p>(知)自ら選んだ曲の特徴を理解し、旋律やリズム、表現のポイントを意識しながら演奏している。 (思)表したい雰囲気や気持ちが伝わるように、考えながら練習している。 (主)自分の演奏に向き合い、よりよい演奏を目指して意欲的に練習に取り組もうとしている。</p>
	<p>がくてん おんかい ちようごう 楽典(音階、調号)</p>	<p>(知)音階、調号などの基本的な楽典を理解している。</p>